

(審議内容の一部を掲載しました。)

委員会レポート



たんぽぽ保育園増改築で定員増

町民建設経済



増改築中のたんぽぽ保育園

平成29年度一般会計補正予算

Q たんぽぽ保育園の増改築整備補助金が1千489万円に減額となった理由は。

A 当初は、現在事務所として使用している建物の解体工事を含んでいたが、県より補助対象外との連絡を受け、計画変更により減額となった。

Q 定員が6名増え36名となったが、来年度の入園応募の状況は。

A 現在は30名の応募がある。公立の保育園に応募が集中しているため調整会議で、定員に達するように調整をする。

Q 保育園パソコン設置システム導入事業費484万円について。

A システムの扱いに慣れれば効果は出てくると考えているが、残業代などの削減額は把握をしていない。作業効率が上がったところで、空いた時間を保育の充実に充てていくことがシステム導入の目標である。

Q ICカードで入園を管理するということが、認証後に園児が外へ出て行ってしまった場合の対応は。

A 現在、延長保育を利用している方は、タイムカードによって管理をしているので、ICカードの導入には対応出来ると考えている。子どもの引き渡しは、従来どおり担任の先生が行う。

Q やまゆり保育園給食室の設備修繕費について現状と今後の予定は。衛生管理の整備は。

A 平成11年の改修後18年経過した。今後は衛生管理を見直したい。随時故障箇所から修繕する。30年度は、器具と滅菌庫の購入を雪窓保育園とともに購入したい。



旧東原児童館跡地の駐車場

Q 東原児童館解体工事費703万円の減額の理由と跡地の利用方法は。

A 当初は、舗装を検討していたが、駐車場利用に限定しない跡地利用を検討することから減額となった。現在は、砕石で整備して、やまゆり保育園の職員駐車場として利用している。

県による2年ごとの実施検査で衛生基準を維持する事が目標だ。雪窓保育園は大規模改修を考慮した事業を実施していく。

役場東側駐車場を購入へ

総務福祉文教

条例改正

Q 職員の育児休業等に関して、非常勤職員の養育する子が2歳に達する前は助成の対象となるのか。

A 非常勤職員は、育児休業を取得しても助成金は出ない。今回の改正では、今までなかった育児休業を非常勤職員でも取得できるようにするもの。ただし、子どもが2歳に達する前に契約が切れている場合は対象外となる。

29年度一般会計補正予算

Q 財務管理費の駅北駐車場管理機器更新工事に関して、八十二銀行側入り口は大回りしないと入れない。機器をもう少し移動できないか。

A 今回は精算機のみ交換である。今回補正予算では対応できない。

Q いつ、工事は終わるのか。

A 議会終了後、すぐ発注するが年内は難しく、1月中旬を目途に修理を行う予定である。



改修された精算機

Q 保健福祉課側の精算機は故障の恐れはないのか。

A 平成22年に新たに設置したもので、今のところ問題ないと考える。

Q 教育費の北・南小の要保護・準要保護児童援助費の対象は何人か。

A 来年度中学生になる対象生徒は、北小9名、南小11名、小学1年生になる生徒では北小3名、南小8名を見込んでいる。

Q 購入する役場東側駐車場用地の面積と単価は。

A 5千685㎡である。坪あたり4万円を見込んでいる。



購入予定の役場東側駐車場

Q 3月までの医療費の見込みは。また、保険者が町から県に移行する中で、国などから新しい情報提供は。

A 療養給付費は月あたり7千480万円を見込む。保険給付費は月平均6千990万円だが、12月支払い分は手術などにより8千万円を超えており、変動が大きい。国保の条例改正に関して県で運営方針をまとめ、内容は1月以降に正式に示される予定である。

Q 予備費3億4千836万円と高額だが、今後基金として積み立てていくのか。

A 基金積み立ては、理事者、企画財政課、国保運営協議会などに諮り、今後の方針を決めていく予定である。